



## 肝炎コーディネーターをより身近な存在に

秋も日ごとに深まり、朝夕の冷え込みも厳しくなってきましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

本通信では、肝炎コーディネーターの皆様が患者にとってより身近な存在としてご活躍されますよう、啓発・医療の両面から様々な活動事例をご紹介します。

イラスト提供：京都肝炎友の会

### 第8号の内容

【お知らせ】 京都府肝炎情報ガイド（第6版）が完成

世界肝炎デー報告

京都府肝炎コーディネーター養成研修のご案内

【特集】 カンゾーさんが行く 京都府肝炎コーディネーター インタビュー

洛西ニュータウン病院肝炎啓発イベント報告

京都府立医科大学（市民公開講座）報告

【Q & A】 このコーナーでは素朴な疑問にカンゾーさんがお答えします。

井手町保健センター（藤森様より）報告一部抜粋

令和5年度活動報告より【医療担当】ベスト3【啓発担当】ベスト3

【Web 寄稿より】 Web の寄稿にご投稿いただいた内容です。

京都府立医科大学附属病院 齋藤様

京都市北区 K さん

### 【お知らせ】 京都府肝炎情報ガイド（第6版）が完成

京都府肝炎情報ガイド（第6版）が完成しました。

肝炎コーディネーターの皆様へ送付しております。他の啓発資材と併せて、啓発活動にお役立てください。



【仕様】 A5版 36頁

#### 主な内容

1. 肝臓の働き
2. 肝臓の病気について
3. ウイルス性肝炎について
4. 肝疾患専門医療機関等について
5. 肝炎医療費助成制度について
6. 肝がん医療費助成制度について
7. 肝炎ウイルス検査について
8. 精密検査費用助成制度について
9. 京都府肝炎コーディネーターについて

## 【お知らせ】 世界肝炎デー（7月28日）、啓発イベントを開催。

7月28日の世界肝炎デー（日本肝炎デー）にあわせて、京都肝炎友の会及び京都市と協働し、肝炎ウイルス検査の必要性を知っていただき、ひとりでも多くの方に検査を受けていただくよう啓発活動を実施しました。

広場の大型スクリーンでは、「知って、肝炎プロジェクト」の動画（コロッケさん、伍代夏子さん）の放映と京都府広報監まゆまろといっしょに肝炎関連のチラシ、ウェットティッシュやうちわなどの啓発資材を配布しました。

また、肝炎友の会による出張相談会も開催し、多くの方が相談にお越しくださいました。

## 【お知らせ】 京都府肝炎コーディネーター養成研修のご案内

令和6年度「京都府肝炎コーディネーター養成研修」を開催いたします。  
病院ごとの多職種の方の申込もあり、受講者数も年々増えてきています。

（申込期間） 令和6年12月2日～令和7年1月20日

（対象者） 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・栄養士・医療事務  
患者及び家族・自治会・自治体職員（全ての対象者）

申込 URL <https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?acs=UKETUKE01>

申込期間 令和6年12月2日（月）から令和7年1月20日（月）まで  
京都府からのお知らせ

### 肝炎コーディネーター養成研修会のご案内

主催：京都府・京都府立総合医療センター（京都府立医科大学附属病院・京都大学医学部附属病院）

京都府では、肝炎対策を各地域で進めるため、「肝炎コーディネーター」を養成しています。この度、肝炎コーディネーター養成研修会をフルオンライン配信で開催します。この機会に、「ウイルス性肝炎」について学んでください。

【肝炎コーディネーターとは】  
様々な職種から構成され、肝硬変・肝がんで苦しむ人を一人でも減らすため、市民への肝炎ウイルス検査の受診勧奨や慢性患者への受診勧奨を行う役割を担います。また、施設内においてより適切な窓口を紹介することも重要な役割です。

＜肝炎コーディネーターに期待されること＞  
※ 肝炎ウイルス検査を受けられる医療機関を紹介する。  
※ 対象となる医療機関を運営する患者に医療費助成制度を紹介する。

予防 → 受検 → 受診 → 治療 → 肝硬変・肝がんで苦しむ人を減らす

基本知識の普及啓発  
ウイルス検査の受検勧奨  
慢性患者への受診勧奨  
助成制度の紹介  
仕事と治療の両立支援

開催方法 フルオンライン配信（録画結果についてはメールで配信）  
※ 視聴期間内であれば都合の良い時間にいつでも視聴することができます

受講申込期間 令和6年12月2日（月）～令和7年1月20日（月）

受講の流れ ①URL又はQRを読み取り、上記の期間内に受講申し込みを行う  
<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?acs=UKETUKE01>  
②講義動画視聴用のURLが記載されたメールが届く  
③自分の都合の良い時間に講義を視聴（視聴期間：令和7年1月31日まで）  
※ 恐れ入りますが視聴に係る通信料はご負担ください。  
④認定試験に解答する（解答期間：令和7年1月31日まで）  
⑤京都府より採点結果と合格の場合は認定申請書がメールで届く

対象者 京都府内勤務のすべての対象者（無所属の場合は京都府内に居住する方）  
医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、医療事務  
患者及び家族、自治会、自治体職員 【所属部署単位で参加される方が増えています。】

◆プログラム◆

基礎編 1.肝炎コーディネーター制度について（動画）約5分  
2.ウイルス性肝炎とその治療（動画）約30分  
3.肝炎患者による講演（動画）約20分  
4.京都府の肝炎対策（PDF：無料肝炎検査、助成制度等）

応用編 1.B型肝炎の病態と治療（動画）約25分  
2.C型肝炎の病態・治療について（動画）約28分

※ 応用編は  
いずれかを選択。

要領書・京都府健康増進部健康増進課がん対策係  
電話：075-414-4700（直通） 受付時間：平日9時～17時 メール：[kankei@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kankei@pref.kyoto.lg.jp)



申込 QR コード

## 【特集】 カンゾーさんが行く 京都府肝炎コーディネーター インタビュー

### 洛西ニュータウン病院 肝炎啓発イベントから

京都市西京区の医療法人清仁会洛西ニュータウン病院で肝炎啓発活動のイベントが7月26日に開催されました。

肝炎コーディネーターでもあり、同病院の医事課課長でもあります「里見さん」にお話を伺いました。里見さん、イベント当日の様子はいかがでしたか？



今年は「世界肝炎デー」が7月28日(日)であることに伴い、7月26日(金)に肝炎啓発活動の一環として「知って肝炎、洛西ニュータウン病院 2024」のイベントを病院1階ロビーで開催いたしました。

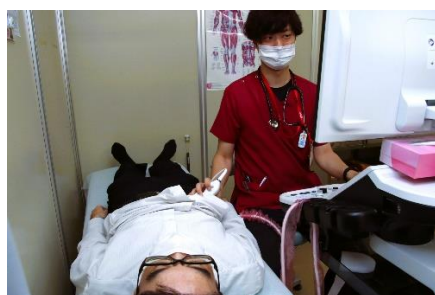
参加者には無料で「超音波検査での肝硬度レベルの測定」を行い結果をお知らせしたほか、「無料肝炎ウイルス検査・制度」の案内ポスター掲示を行うなど、今回のイベントを通じて肝炎に対する知識や助成制度を少しでもお伝えすることができたと思います。



たけにょんがお迎え！



肝炎予防の案内ポスターの掲示



超音波検査での肝硬度レベルの測定



肝炎ウイルス検査

参加者からも好評価を頂きました。

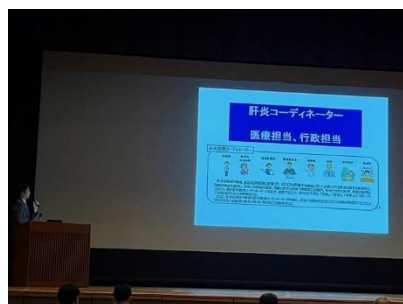
当病院は看護師、スタッフを含めて24名の肝炎コーディネーターが働いており、今回のイベント経験を活かして今後も肝炎に関する啓発活動を継続していきたいと思っています。



## 京都府立医科大学（市民公開講座）から



9月21日に京都府立医科大学(附属図書館)で開催されました市民公開講座に参加してきました。テーマは「肝臓病を知ろう」ーはじめの一步からー  
講演1. 肝炎、講演2. 肝がん、講演3. 脂肪肝、講演4. 胆管がん、講演5. 拠点病院からの報告といった、盛りだくさんの内容でした。  
当日の聴講者は年配の方が中心で、みなさん熱心に講演を聴かれています。  
京都府肝炎コーディネーターについて紹介いただき、活動内容などわかりやすくお話をされていました。(講演の様子を写真で一部紹介するよ)



【Q&A】このコーナーでは素朴な疑問にカンゾーさんがお答えします。



肝炎コーディネーターって、どんな活動してるんだろう？

肝炎コーディネーター(自治体職員)からこんな報告が届いているので紹介するよ。

所属機関:井手町保健センター(藤森様より) 報告書より一部抜粋

### ◆肝炎ウイルス検査の受検勧奨

毎年、節目年齢の方には個人的に受診票を送付して、受診勧奨しています、そのほかの方については町で一度も肝炎ウイルス検査を受けていない方には受けてもらうように広報や戸別配布の知らせで勧奨しています。

### ◆肝炎ウイルス検査の受検促進等に係るアイデア

井手町は小規模な町なため検診もほぼ町内の2医療機関に集中しています。そのため医療機関にも依頼して、特定健診等、検査にこられた方に、肝炎ウイルス検査を受けていない方には一緒に検査してもらうようお願いするようにしています。

イベント(文化祭等)でも勧奨したいと思います。



また、昨年の活動報告書を肝炎コーディネーター（医療／啓発担当）の方から頂いたご意見から、TOP3を発表します。（みなさん、活動の参考にしてくださいね。）

#### 医療担当

**第1位** 肝炎の情報提供（検査、助成制度）、外来窓口への啓発資材の設置

**第2位** イベント等での肝炎の受検、受診勧奨

**第3位** スタッフへの医療安全への指導、対応（ワクチン接種を含む）

その他のご意見

肝炎患者への指導、支援・SNSの活用・学会発表等がありました。

#### 啓発担当

**第1位** 窓口（行政、病院など）での情報物の提供

**第2位** ホームページなどの掲載やイベントなどで住民へのフォローアップ

**第3位** 各種学会、患者会、コーディネーター通信での情報収集

その他のご意見

特定健診での肝炎ウイルス検査を実施・学生の親世代への受診勧奨

アイデアとしてコンビニやスーパーで肝炎ウイルス検査の実施等がありました。



### 【Web 寄稿より】Web にご寄稿いただいた内容です。

肝炎コーディネーターの方に、コーディネーター通信への寄稿を募集しています。

#### ◆京都府立医科大学附属病院の齋藤千佳子様からのご寄稿 （R6.2.27 受信）

2022 年から京都府肝炎コーディネーターとして活動しています。院内で担当している医師とも 20 何年も前から一緒に働いていたこともあり、相談しやすい環境で活動開始となりました。

インターフェロンが中心であった時代からの患者様の苦痛や願いを胸に、今治療中の方たちの苦痛が少しでも減るよう、院内肝炎アラートの復旧や担当する診療科での陽性者の対応など、知識をもとに医師にも情報提供しながら微力ですが活動を続けています。院内対策の構築が最も大きな課題ですが、患者様だけでなく家族の方にも広めてもらえるように説明を行い、少しずつでもよいのでウイルス性肝炎の患者様を減らす・再活性化を防ぐことができれば、苦痛を味わった患者様の願いは届いていく、と信じて、今後もできる限りの活動をしていきたいです。

京都府全体の知識の底上げのため、他院の肝炎コーディネーターの皆様方とも連携したいと考えています。

## ◆京都市北区にお住いのKさんからのご寄稿（R6.5.1 受信）

私の母は、C型肝炎を50代の頃に発症し、長い間悩まされ続けました。感染経路は判らず、12年前に85才で亡くなりました。私は母が33才の時の子、その10年後に妹が双子で産まれました。高齢出産でおまけに双子。さぞ身体に無理があった事でしょう。それ以後、気分のすぐれない日が多かったように思います。

インターフェロンの画期的な治療法も当時 紹介されるようになりましたが。既に80代の母には負担も大きく叶いませんでした。晩年の母は食道静脈瘤や腹水が溜まって辛そうでした。慢性病にじっと耐える姿は 心の晴れる事が無かった様に思います。今は時代も変わりもっと早く有効な肝炎治療が受けられるようですね…

私は60代ですが、患者家族として肝炎コーディネーターに応募しました。きっかけは長年医療の仕事に携わる夫の勧めです。先日 認定証を頂きましたが、今後どのように活用すれば良いのか？全く分かりません。養成を受けられる場などあればご案内頂きたいです。

ありがとうございました。

みなさんのご寄稿をお待ちしております。

京都府では、肝炎に関する啓発資材も準備しています。

ご希望の方は、URL 又は QR コードからお申込み下さい。



ご 寄 稿

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?acs=tusin>

啓発資材

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?acs=kanencoordinator3>



## ～ カンゾーさんの編集後記 ～

肝炎コーディネーターそれぞれの活動は決してひとりで行っているのではなく、チーム全員で目標を達成するために役割を担っていると思います。

病院内で医療・啓発担当のコーディネーターの活動例を今回ご紹介させていただきました。

これからも医療担当、啓発担当の肝炎コーディネーターの方々は、それぞれの立場を活かされた活動をお願いいたします。

京都府肝炎コーディネーター通信では、みなさまのお役に立つ情報提供ができればと祈念しております

今回の記事にご協力下さいました肝炎コーディネーターのみなさん、ありがとうございました。

発行：京都府肝炎コーディネーター事務局

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府健康福祉部健康対策課

電話：075-414-4766 FAX：075-431-3970 [kentai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kentai@pref.kyoto.lg.jp)